

# 研究推進ニュースレター



東京未来大学  
研究推進委員会発行  
2018年3月31日発行

## ご挨拶

「研究推進ニュースレター Vol. 7」をお届けします。本学は心理系をはじめとして、さまざまな研究領域を専門とする研究者が集う共同体です。こうした豊かな土壌は、教育の面で、学生が求める多様なニーズを満たしつつ、予測不能な将来の変化にも柔軟に適応し得る学問的生命力の涵養にもつながるはずです。各年度2回発行の「ニュースレター」が、本学のこれからの研究力向上にお役に立てれば幸いです。

2017年度研究推進委員長 宅間雅哉

## 科研費ニュース

平成30（2018）年度の本学の日本学術振興会科学研究費研究計画調書の申請状況は以下の通りです。

		平成30年度			平成29年度			平成28年度		
		こども (保育・教育)	こども (心理)	モチベーション 行動科学部	こども (保育・教育)	こども (心理)	モチベーション 行動科学部	こども (保育・教育)	こども (心理)	モチベーション 行動科学部
基盤研究(B)	一般	0	0	0	0	0	0	3	0	2
	海外学術調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(C)	一般	5	2	5	6	6	2	3	2	1
	特設分野研究	0	0	0	0	0	0	0	0	1
挑戦的研究	開拓	0	1	0	0	0	1			
	萌芽	0	1	1	0	1	2	1	1	2
若手研究(A)					1	0	0	0	0	0
若手研究(B)		5	0	1	4	0	0	1	1	0
件数 / 金額		10	4	7	11	7	5	8	4	6
合計件数		21 件			23 件			18 件		
合計金額		75,398(千円)			100,262(千円)			124,942(千円)		

平成29年度と比較すると、件数、金額ともに減少しています。合計金額の減少は、1件あたりの申請金額が少ないこととも関連しているかもしれません。申請件数の方は来年度増えることを期待したいと思います。

科研費改革により、研究種目・枠組みが見直されています。挑戦的萌芽研究の発展的見直しにより、平成29年度から挑戦的研究（開拓）が新設されました。また、若手研究（A）は基盤研究に統合され、平成30年度には公募が停止されています。ご自身の研究に合った種目を検討し、申請してください。詳しくは、日本学術振興会、科学研究費助成事業の「研究種目・概要」をご覧ください。

[https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01\\_seido/01\\_shumoku/index.html](https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/01_shumoku/index.html)

平成31年度科研費スケジュールと要領の詳細はまだ発表されていませんが、例年通りですと、9月には日本学術振興会HPで告知されると思いますので、ご確認ください。参考のため、今年度のスケジュールを以下に記載します。

- \* 公募開始：平成29年9月1日
- \* 学内期限：平成29年10月17日（火）17時
- \* 提出期限：平成29年11月8日（水）16時30分（厳守）

## 外部資金等公募情報 -学会以外の研究助成の紹介-

科研費以外にも、様々な団体からの研究助成があります。前回の研究推進レター6号では、そうした研究助成の募集情報を載せているHPをご紹介します。再掲しますとともに、現在各HPで紹介されている4月締め切りの募集情報を掲載します。先生方のご研究に役立てていただきたいと思います。

### <研究助成の募集情報を掲載しているHP>

- 1 公益財団法人 助成財団センター (The Japan Foundation center)  
助成プログラム約3,000件を収録したデータベースがあります。事業形態や事業分野、募集時期による検索、キーワード(フリーワード)による検索が可能です。  
(公益財団法人 助成財団センター <http://www.jfc.or.jp/>)
- 2 GRANT SQUARE  
300以上に細分化された研究分野から、研究助成を検索することができます。「採択実績から探す」という機能では、特定のキーワードを含む採択実績からその研究課題が採択されやすい研究助成を探すことも可能です。  
(GRANT SQUARE <http://info-innovation.jp/>)
- 3 コラボリー/Grants (研究助成)  
国、地方自治体、民間助成団体の公募情報が検索できます。また、各助成プログラムが過去にどのような研究課題を採択したかがわかる採択実績も提供されています。  
(コラボリー/Grants (研究助成) <https://www.colabory.com/grants/>)

※ 各サイトの利用規約を事前にご確認の上、ご利用ください。

### <研究助成金の募集情報>

- 1 サントリー文化財団：人文科学、社会科学に関する学際的グループ研究助成
  - ①助成対象：人文科学、社会科学の分野における、特定の専門分野に偏らないメンバーで構成された学際的なグループ
  - ②助成金額：1件つき50万円から300万円の範囲で助成
  - ③助成期間：2018年8月1日～2019年7月31日
  - ④申請締め切り：2018年4月10日(火)
  - ⑤助成の決定：7月頃
- 2 サントリー文化財団：地域文化活動の実践者と研究者によるグループ研究助成
  - ①助成対象：地域文化活動を行っている人(実践者)と研究者による共同研究
  - ②～⑤は、「1 サントリー文化財団：人文科学、社会科学に関する学際的グループ研究助成」と同じ。1・2の併願はできません。詳しくは、<https://www.suntory.co.jp/sfnd/research/> をご覧ください。

## 東京未来大学の紀要等紹介

東京未来大学には紀要をはじめ、研究成果を発表する論文集が複数あります。平成31年度の詳細は発表されていませんが、参考のため、今年度のスケジュールを以下に記載します。研究成果発表の場としてご活用ください。

論文集名	申し込み締め切り	原稿提出期限
東京未来大学研究紀要	平成29年7月21日(金)	平成29年9月15日(金)
モチベーション研究	なし	平成29年11月30日(木)
未来の保育と教育	通常号:平成29年12月13日(水)	通常号:平成30年3月16日(金)
-東京未来大学保育・教職センター紀要	特別号:平成29年7月21日(金)	特別号:平成29年9月19日(火)
平成29年度教育改善向上(FD)年報	平成29年7月14日(金)	平成29年9月8日(火)
論文および増刊号		

## 研究紹介

東京未来大学の先生方の研究について、インタビュー形式でご紹介するとともに、大坊学長より、「採択のポイント」を解説していただきます。今回は、科学研究費の若手研究に採択された西村実穂先生にお話を伺いました。

### Q 1 西村先生、採択された研究のテーマと概要、また、助成を取られての主な使い道、計画などがあればお教え下さい。

今回の採択テーマは「事業所内保育所における防災に関する研究—災害時行動計画モデルの検証—」です。事業所内保育所や院内保育所は、災害発生時に休園になった保育所の子どもを受け入れたり、災害が起こったからこそ対応に追われる病院や事業所を稼働させるために、その職員の子どもを受け入れたり、通常の認可保育所以上に災害発生時の対応をしっかりと定めておかなければならない保育所です。しかし、実情は、災害対策について何も定めがなかったり、病院や事業所の災害対策の対象から除外されていたりと、災害が起こった時に非常に弱い立場にあります。それに対応するために、日々の保育のなかでも実践できる効果的な避難訓練のあり方について検討したいというのが本研究になります。研究計画は災害発生時にどのような対応をしていたのかという事例調査、災害発生に備えていかなる備えができるのかという検討、日々の保育のなかでも実践できる短時間での避難訓練シミュレーションの実践と効果の検討の3段階になっており、今年度は事例調査のための出張等に費用を使っています。



### Q 2 研究計画調書作成にあたってご苦労された点、工夫した、アドバイスなどありましたらお願いします。

2年続けて落ちていたので、その分の計画調書を修正して出しています。前年度までと変更した点は、申請区分を変更、テーマを防災に絞った（これまでは保育所全体の環境整備という広いテーマにしてもう少し研究対象を広げていました）という点です。今年度行われた保育所保育指針、幼稚園教育要領の改訂で保育の場における災害対策が重視されるようになると聞いていたこともあって防災というテーマに絞ったのですがこれが良かったのでしょうか。あまり自信はありません。

また、様々な分野の学会で発表をするなかで、保育の分野ではまだ検討されていないことが、看護・医学・福祉・教育等、別の分野から見ると別のアプローチがある、既に実践・検討されている等、別分野の研究をされている方から意見や助言をもらったことは非常に勉強になり、申請書作成の際に役立ったと感じています。

### Q 3 研究の進捗はいかがですか？また、今後の展望についてお聞かせ下さい。

本当はもう少し事例調査に出かけたのですが、妊娠したため当初の計画よりもペースダウンしています。また、次年度からは育休に入るため研究が中断してしまいます。思うように調査に行けないなど研究計画を修正しなければならない点が出てくると思いますが、これまで得たデータも活用しながらできることを確実に進めていきたいと思っています。

### 大坊学長の「ここが採択のポイント」

科研費の獲得は、研究者にとって自分の裁量を遺憾なく発揮できるものであり、自由度は高く、採択を願うものです。それ故に、なかなか配分額が増えないこともあり、競争率は高いままです。そうすると、申請書を記述の工夫が重要です。当該の研究分野の最新の動向を踏まえ、この1、2年に類似の研究テーマが採択されているかどうかのチェックも必要です。そのためにも学会大会の発表、学会誌の論文動向は常に吟味する必要があります。

特に最近では、自分の研究の専門領域にピンポイントで適合する人が審査するとは限らないので、自分の研究領域を広めに捉え、ある程度の関連領域の審査者にも関心を持ってもらえるような申請書づくりが必要です。

西村先生の場合、保育所保育指針、幼稚園教育要領の改訂に着目され、一種のエア・ポケットであった保育現場での防災に焦点を絞ったことは審査者にとっても新鮮ではなかったかと思います。また、学会大会で別分野の人との意見交流から重要なヒントを得たことは、貴重だったと思います。

不採択が続くような場合には、自分の研究の基本を変える必要はありませんが、「いつも」とは異なる場面での交流、最新の研究動向、社会情勢を勘案することはいい契機になると思います。また、学会や出身大学の自分と関連する研究テーマの研究者との交流を深め、その研究仲間に参画する、そして科研費申請の仲間に加えてもらうことにより、後の自分の申請の下地づくりをすることもっとあってもいいのではとも思います。

加えて、その年に採択された研究テーマ、研究者についてHPで確認することは誰にとっても必要なことと思います。益々の申請、採択を念じております。

## 平成 29 年度 東京未来大学特別研究助成研究発表会報告

平成 30 年 2 月 21 日 (水) 10:00~12:00 に B323、B324 教室にて、平成 29 年度東京未来大学特別研究助成研究発表会が実施され、11 名の発表報告が行われました。多くの先生方に参加して頂き、盛況のうちに実施されましたことをご報告いたします。なお、当日の発表者と発表タイトルを以下に紹介いたします。

### B323 教室

氏名	タイトル
鈴木公啓	身体と装いの自他への影響とその心理機序
藤後悦子 (大橋恵、井梅由美子)	小・中・高校生のスポーツを通じた親子関係、ベンチハラスメント、親の負担感の各尺度の開発と発達的変容
大橋 恵 (藤後悦子、井梅由美子)	地域スポーツにおける指導者のハラスメント行動を測定する尺度の開発、および継続意図に関するモデルづくり
日向野智子 (角山剛、高橋一公、藤後悦子、山極和佳、磯友輝子)	保育士のコミュニケーション力が保育職就労に及ぼす効果
小谷博子	出産・妊娠による女性の脳機能変化
近藤俊明 (出口保行)	不登校の予防的介入方法の形成的研究

### B324 教室

氏名	タイトル
泉 秀生	幼児の生活習慣を乱れさせる要因探索研究
小林久美	被服購入意識と繊維の認知および家庭科教材との関連
鈴木哲也 (桐原礼 信州大学)	教科の特性を活かした合科授業の開発
大西 斎	国民投票と間接民主制の研究
金塚 基 (岩崎智史)	高等学校における応援団の活動および儀礼的役割に関する考察

なお、田中真奈美先生「外国人児童生徒の教育保障と就学保障の国際比較」のご発表は、出張で当日の口頭発表ができないため、共有フォルダ内の資料を以て発表に代替いたしました。

### 発表の様子



### 編集後記

今年度の東京未来大学特別研究助成研究発表会では発表者が多く、2 会場に分けての開催となりました。質疑応答も活発に行われ、発表者、参加者ともに充実した発表会となりました。本発表会が教員同士の交流の一つの機会となり、本学の研究がより一層推進されることを期待しております。